



発行所
津田サイエンスヒルズ
まちづくり協議会
〒573-0128
枚方市津田山手2-9-5
大阪大学内
TEL (072) 858-5901
FAX (072) 858-5904
(題字: 墨アーティスト 植笠幸三書)



大阪工業大学の就職希望の学生

昨今、就職を取り巻く環境が厳しさを増す中で、この度北大阪商工会議所の斡旋で、大阪工業大学情報科学部と津田サイエンスヒルズまちづくり協議会との合同企業説明会が去る6月23日、植田工業株式会社との会議室で行なわれた。



まちづくり協議会の企業代表者の皆様

この合同説明会には、この合同説明会には、大学側から4回生、研究生20名参加、企業は10社参加した。まちづくり協議会を代表して佐々木会長あいさつ、大学側を代表して佐野教授の謝辞、続いて各企業10分以内の企業説明会があり、その後3グループに分れて会社訪問を行なった。終了後、学生からアン

3月20日に全線開通する第二京阪道路路上で、記念プレイベントが3月14日に開催された。このイベントに枚方学研ICに近い津田サイエンスヒルズまちづくり協議会からは、大阪大学自由電子レジャー研究施設、アスク、吉泉産業、坂本技術開発研究所、香椎化学工業、森下仁丹、当協議会の7グループが参加した。

当日のプレイベントにはサイクル走行、ウォーキングなども行なわれ約6000名が参加。道路開放イベントの枚方会場に多くの市民が訪れ、香椎化学の抽選会にも長い行列ができた。



まちづくり協議会各企業出展コーナー



イベントの余興にチンドン屋さんも参加

が受け取り大変好評であった。当協議会はパンフレット、ニュースを市民に配布した。佐々木会長も一日中参加し、関係者への対応に追われていた。

就職希望者の合同説明会

大阪工業大学情報科学部と津田サイエンスヒルズまちづくり協議会

ケイトを取り、感想の中に◎すべての企業が、すぐやる気に対応してくれた。◎地元で優れた

企業がしつかり根拠していることがわかった。◎今まで見ていなかったもののづくりの現場を見ることができたなど好評であった。20名中に12名が再訪問を希望しており、当協議会として再訪問希望者のアンケート結果を

参加企業に送信した。参加企業(植田工業、高園産業、坂本設計技術開発研究所、伸和製作所、日本インバーター、吉泉産業、アスクウェル、カナエ技術、枚方技研、島川製作所以上10社)

第二京阪全線開通プレイベント「まち協」から7グループ参加 3月14日

第3回 ボーリング大会

42チーム 165名参加

3月19日 牧野松園ボウルにて

団体戦で優勝した河内金属Bチーム



ボーリング大会成績表

団体戦	優勝	河内金属製作所Bチーム (上川英・橋本勲・橋本新・前田)
	準優勝	アスクAチーム (喜田・砂守・藤間・町田)
	3位	高園産業Dチーム (井上・福田・義則・生島)
個人戦	優勝	砂守 勝 (アスク)
	準優勝	井上 徳崇 (高園産業)
	3位	上川 義代 (河内金属)

津田サイエンスヒルズ杯第3回親睦交流ゴルフ大会が去る5月15日枚方国際ゴルフクラブで開催した。この大会には、まちづくり協議会の経営者従業員など7組28名が参加した。当日スタート前に、2Fコンペルーム室にて、経営コンサルタント青い鳥グループの三

ゴルフ大会成績表

優勝	植田 守 (植田工業)
準優勝	井瓜 大策 (カナエ工業)
3位	岡 晋三 (河内金属)
4位	橋本 文彦 (吉泉産業)
5位	中田 幹夫 (アスク)

宅賢一氏から「ゴルフの極意と経営の気づき」についての話しを聞き、スタートした。

佐々木会長から植田社長に優勝カップ贈呈



スタート前のまち協のメンバー



津田サイエンスヒルズ掲示板

津田サイエンスヒルズ杯第3回親睦ボーリング大会を去る3月19日京阪牧野駅前松園ボウルで開催した。各企業の皆様のご支援で42チーム165名が参加し、和やかな交流の中で大成功に終わった。

アスク LED工場へ!



アスクではこのたび枚方市より「エコ工場化推進事業所」の認定を受け、太陽光発電型LED照明(シャープ製)を含む外灯6本、エントランス部の照明24個、事務所29本、検査室10本、工場内水銀灯を40個LED照明に換えました。(工場全体の照明3分の1程度)今回のLED照明で以下のような成果が見込まれています。

- ★69%の電力コスト削減(年間)
- ★69%のCO2削減(年間)
- ★杉の木 1,793本分の効果(年間)

ご興味がおありの企業様はいつでも見学にいらしてください。

(株)アスク見学依頼窓口:長倉鉄平まで

第3回 5月15日 枚方国際GC 親睦交流ゴルフ大会 7組28名参加

津田サイエンスヒルズに 大阪府・枚方市から13名が工場視察

去る7月14日、春名克俊（大阪府政策企画室課長）、乾俊人（商工労働部金融支援課副理事）、河本通孝（枚方市都市整備部まちづくり推進課課長）ら13名が、津田サイエンスヒルズ内のアスク、植田工業、高園産業、伸和製作所、坂本設計、吉泉産



植田工業(株) 植田社長の説明



伸和製作所 能美社長の説明

業の6社を訪問し、現地の企業視察を行った。○津田サイエンスヒルズの現状の認識を深めるため、代表的な研究施設や先駆的な研究開発にある企業を視察し、進出にあつたの動機・理由・進出後の現状及び今後期待することについて。

○まちづくり協議会としての活動状況とメソッドや今後の事業展開について

○産学公連携の成果事例や検討事例について

○学研都市建設法の税制上の優遇措置が平成22年末となっており、実際に適用を受けている企業からの効果や課題

枚方市健康リーダーグループ 27名が見学会に訪れる

7月20日、枚方市健康リーダーボランティアグループ27名が、ブルーミッシュ、香椎化学工業の見学会に訪れた。

このグループは、枚方市内の各中学校区の健康リーダーで構成し、お互いの情報交換や交流を通して、課題の解決を図るとともに、校区全域をサポートしながら、市民の健康づくりを支援するボランティアとして「活動しやすい体制作りと活動の活性化」に取り組んでおられる。

女性リーダーが多い関係上、洋菓子と化粧品などの研究開発に特に関心を示され、主婦の目線から熱心な質問が飛び交い、楽しい見学会となった。



吉泉産業(株) 佐々木社長の説明



ブルーミッシュの製造ラインで熱心に説明を聞く



(株)アスク:新開発商品 電線マン(AS-100)の実演

ホームページを開設

津田サイエンスヒルズ
まちづくり協議会

ホームページアドレス
<http://tsuda-science.jp>

メールアドレス
matikyou@tsuda-science.jp



香椎化学工業 西谷本部長の商品説明

株式会社清和光学製作所

関西事業所
枚方開発センター
第3技術部



工場長(兼)部長 遠藤 光昭氏

マルチメディア関連の 表示装置を開発

一九四七年に顕微鏡事業をメインに東京で創業した(株)清和光学製作所。現在では、画像光学、半導体、液晶、製造装置などを国内外のメーカーに供給し、モノ作りの現場を支えている。

「当事業所のベースはFPD用露光装置やタッチパネル、有機EL用露光装置など最先端の露光装置の開発製造です」と遠藤光昭工場長は語る。

身近な製品でいえば、薄型テレビの表示部分

の製造に必要な機械に該当する。マルチメディア関連メーカーなどが主な顧客となり、個別のニーズに合わせたカスタマイズなどにも丁寧に対応する姿勢が信用を築き上げてきた。

また、世界最大規模のフラットパネルディスプレイ(150インチクラス)

製造も可能な技術を保有し、常に技術革新を続けている。

津田ヒルズに事業所を構えたのは05年。枚方工場(高野道)が手狭になったことを受け、交通の便なども考え入居に至った。

「今は中国市場の拡大に伴い、中国向装置の開発から量産、アフターサービスに注力しています。今後多様化するマルチメディア関連企業向露光装置の開発・製造に一層力を入れていきたいです」

すでに中国・上海をはじめ、米国、韓国や台湾などにも現地法人を置き、光学技術をコアとした先端技術を武器に、ワールドワイドなビジネスを着々と進めている。



PA-1550VAA

津田ヒルズ立地企業を訪ねる

当エリアに入居している企業の
業務内容や社会的意義を順次紹介

香椎化学工業株式会社

カシー
テクニカルセンター



取締役 開発本部長 センター長 西谷 郁雄氏

常に革新を続ける 「技術の香椎」

大阪発祥の大手化粧品メーカーや通販で急成長を遂げたブランドに、技術提供を行ったことでも知られる香椎化学工業株式会社。

64年にはプラセンタエ

キスという成分を日本で始めて応用した化粧品(プラスキンシリーズ)を開発し注目を浴びた。同社製品の特徴は、いわゆるリピート率の高さにある。度使用と品質の高さは誰もが認めるところとなり、一九五一年に創業以来、「技術の香椎」という冠が課せられ続けてきた。



人気のリポインシリーズ。左から「クリーム」「エッセンスEX」「リンクルメント」

現在では自社ブランドとOEM相手先プラ

ンド製造)の割合は1対1となっている。

津田ヒルズへの入居は06年。

作業効率がアップし、物流面でもメリットを感じているという。

今後は「3000キログラムの圧力をかけて製造するリポソームと呼ばれるナノ化された商品開発などに力を入れていきます。従来にない製品開発にも力を注ぎ「親から孫へ」受け継がれる商品開発にさらに力を注いでいきたい」と取締役 開発本部長 センター長 西谷 郁雄氏は話す。